

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C
横断的な課題	人々を呼び込む魅力的な地域づくりの推進				
地域重点政策	ポストコロナ時代に選ばれる「誰もが自分らしく健康に暮らせる長野地域」をつくる				
実施機関	長野地域振興局		担当課	所属	企画振興課
事業名	地域おこし協力隊確保・活動・定着支援事業			電話	026-234-9501
				E-mail	nagachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	しあわせ信州創造プラン3.0長野地域計画では、地域おこし協力隊などの地域社会の担い手の確保や育成の支援に取り組むこととしており、隊員の活動の円滑化や退任後の地域への定着・定住を目指す。			
	現状と課題	・長野地域では、令和7年4月1日時点の地域おこし協力隊員数が7市町村49名、令和6年度末任期終了者の定着率は85%となっている。 ・長野県総合5か年計画では、地域おこし協力隊についての達成目標が、2027年度に隊員数580人、任期終了後の定着率85%と設定されているため、引き続き取組を促進する必要がある。 ・令和6年度に隊員に向けアンケートを実施し、他地域の協力隊員との交流をしたいというニーズを確認。 ・隊員は他地域の協力隊員の活動や任期終了後についての関心が高いため、活動支援として行う研修会等では地域に根付き活動している協力隊OB・OGを起用し、将来的に広域的な連携に繋がる企画を実施する必要がある。			
	内容 (変更後の内容)	活動中の協力隊員同士の圏域を超えた「つながりの場」づくりとして、松本地域・北アルプス地域・長野地域の3局合同による隊員向け研修会を開催する。 研修会の内容 ①多様な活動を個別で展開している隊員同士が、活動の中で抱える課題や悩みについて話し合い、隊員同士のつながりづくりの場となる意見交換会 ②長野地域の協力隊OBによる協力隊員向けアウトドア講習会(任期中の活動から卒隊に向けての体験談や任期終了後に起業したアウトドアサポート事業の体験) 【概要】 日時:令和8年2月18日(水) 10:00～15:30 場所:スノーハープ(白馬村) 参加者:松本・北アルプス・長野地域管内の地域おこし協力隊員 内容:①意見交換会 課題や悩みについて意見交換 ファシリテーター8名(松本地域協力隊OB・OG3名、北アルプス地域協力隊OB・OG3名、長野地域協力隊OB・OG2名) ②協力隊としての体験談及びアウトドア体験(講師3名) 梨本 利信(なしもと としのぶ) Bush Man Works (小川村地域おこし協力隊OB) 平田 晋也(ひらた しんや)(小海町地域おこし協力隊OB) 川村 一弘(かわむら かずひろ)(JBS認定ブッシュインストラクター) 内容:火起こし・タープ設営等			
事業期間	令和7年12月 ～ 令和8年2月				
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考	
	活動支援事業	アウトドア体験	204,000	【アウトドア体験講師謝金】 謝金 68,000円×3名(報償費) 【ファシリテーター謝金】 松本・北アルプス地域振興局で負担 3,200円×4時間×8人=102,400円 ※うち、不足分2,400円は地域振興課予算を活用	
	合 計		204,000		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	研修会参加人数(3局の隊員数106人の5割以上)		53人	30人	○ 達成 ● 一部達成 ○ 未達成
	参加者アンケート満足度(満足・やや満足)		60%	86%	
事業実績・成果	【実績】松本・北アルプス・長野地域の3局合同による地域おこし協力隊員向け研修会を実施したところ、参加者は30名にとどまり、目標値には達しなかった。未達の要因としては、会場が遠方であったことや、積雪時期と重なったことが影響したと考えられる。より多くの隊員が参加しやすいよう、交通の便が良い長野市での開催や、時期の見直しが必要である。一方で、参加者アンケートでは満足度が高く、「満足」「やや満足」と回答した割合は86%と、内容については概ね好評であった。 【成果】本取組により、協力隊員間の横のつながりが強化され、日常の活動の円滑化が図られたほか、退任後の定着・定住に向けた意識醸成につながった。また、協力隊員同士の情報共有の促進やコミュニティ形成を一層図ることができた。				
今後の方向性	今後も、地域おこし協力隊員向け研修会を他地域振興局と合同で開催し、研修参加に係る負担の軽減を図るとともに、他地域の協力隊員との交流機会を設けることで、隊員の活躍促進および定着率の向上につなげていく。そのため、引き続き市町村担当課や協力隊員から課題や要望を把握し、必要な支援を行う。				